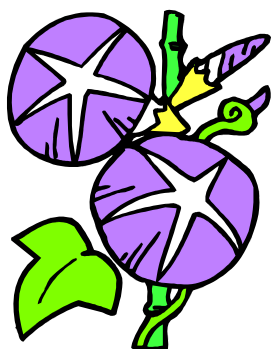


2011 暮らしのサポーター通信

扇風機の確認を！



ハイライト：
□ 今月のテーマ

扇風機の確認を！

生活関連物資
のはなし

□ 交流コーナー
暮らしのコラム

平年より10日早く梅雨があけて夏本番を迎えました。今年の夏は、東日本大震災や福島での原発事故などの影響による電力不足を背景として節電ムードが高まっています。

そうした中でエアコンを効率よく使用するため扇風機を併せて使用するケースが想定されます。そのため今年の扇風機の販売台数も大きく伸びているようですし、また、使わなくなって物置などにしまっていた扇風機を出して使用するなど、例年以上に扇風機が活躍しそうです。

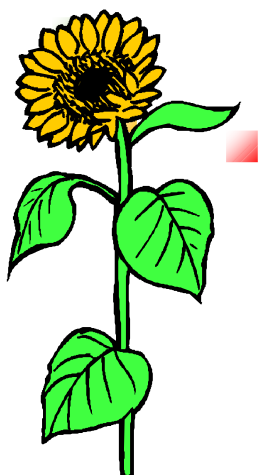
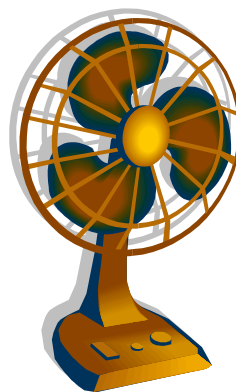
NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構）のデータによると平成17年度から21年度までの間に日本全国で扇風機が原因で発生した事故が157件発生しました。そのうち出火したものが90件で、火災による死亡事故も1件発生しております。

なお、徳島県内においても平成21年に、扇風機が出火元とみられる火災が発生しております。

これらの主な原因として、長期間の使用により性能が劣化する経年劣化が挙げられます。この経年劣化を原因とした事故は、製造から10年以上経過した製品にみられ、とくに30年以上経過したものに多くなっております。

これはモーターをスムーズに回転させるための部品である「コンデンサー」の絶縁機能の劣化による異常があげられます。この場合にはモーターの回転が不安定になったり異音や異臭が発生したりします。

羽を回すための「モーター」についても潤滑油の減少やコイルの劣化により、うなるような音がしたり、ファンが回らなくなります。また、ショートした場合には周辺のホコリや可燃物に着火する場合があります。





○使用する前に注意すること

まず、使用前に扇風機に異常がないか、いつ製造されたものが確認してください。なお、事故が発生する可能性が高い製造後30年以上経過した扇風機の使用を避けた方がいいと思われますが、もし使用する場合は次のことに注意してください。

まず、就寝中や人がいないところで使用しないこと

そして使用している時に、

- ①スイッチを入れても、ファンが回らない。
 - ②ファンが回っても、回転が異常に遅かったり不規則である。
 - ③モーター部分が回転するときに異常な音がする。
 - ④モーター部分が異常に熱かったり、焦げ臭いにおいがする。
 - ⑤電源コードが折れ曲がったり破損したりしている。
 - ⑥電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなかったりと不安定である。
- といった症状がある場合は、直ちに使用を中止して適切に廃棄してください



この他にも風を直接あてた状態で長時間使用すると、体調を崩したり脱水症状になる場合があります。特に、乳幼児、子ども又は高齢者が使用する際には、こういったことにも気を付けるようにしましょう。

生活関連物資のはなし

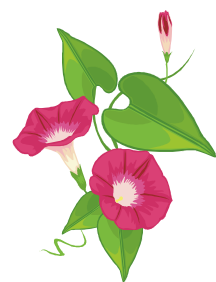
大きな被害をもたらした東日本大震災から4カ月たちました。津波の被害を受けた地域では関係者のご尽力により復旧・復興への取り組みが進められていますが、いまだに大きな傷跡を残しています。

徳島県での直接的な被害は比較的小さいものでしたが（注）、震災の影響として「生活関連物資の不足」がありました。震災直後から懐中電灯など一部の商品が売り切れにより店頭から姿を消すなどの影響があったため、県では緊急に「生活関連物資に関する販売状況調査」を実施しました。



（注）建築物の被害として床上浸水2件、床下浸水9件ありました。

（政府 緊急災害対策本部発表資料より）



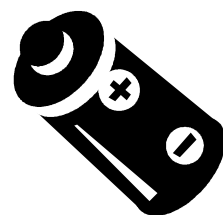
この調査では、当時、品不足が報道されていた7品目（懐中電灯、乾電池（単一）、カップラーメン、ミネラルウォーター、粉ミルク、大人用おむつ、カセットコンロ用ボンベ）について量販店などの店舗に実際に行って陳列棚の確認や、責任者への状況についての聞き取りなどの調査を行いました。

＜特に品薄感が強かったもの＞

懐中電灯、乾電池（単一）

＜品薄感があったもの＞

カップラーメン、ミネラルウォーター



こうした状況は、懐中電灯と電池については震災直後、ミネラルウォーターについては水道水から放射性物質が検出されたとの報道がされてからみられました。また、その原因は、メーカー側は、商品を被災地へ優先的に供給したこと、消費者側は、不足している東日本に住んでいる親類に送ったり、震災の状況をみて不安に思い備蓄のために普段より多くの量を購入したことが挙げられました。

なお、詳しい調査結果については次のサイトを御覧ください。

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011041200401/>

今回の震災で見られたように、大きな災害が発生した場合、懐中電灯や電池などの非常時に使う物資などが手に入りにくくなること予想されます。災害はいつ発生するかわかりません、状況が落ちついてきた今から少しずつ購入し準備をしておくとういと思われま

す。なお、食品については消費期限、電池には使用推奨期限など備蓄の期間の目安となる期限があります。ただ、購入したらいいというのではなく、こうしたものをこまめにチェックするようにしましょう。



徳島県消費者情報センター

〒770-0851

徳島市徳島町城内2番地1

とくぎんモニプラザ 5階

- ・相談電話 088-623-0110
- ・啓発受付 088-625-8285
- ・事務担当 088-623-0612
- ・ファクシミリ 088-623-0174

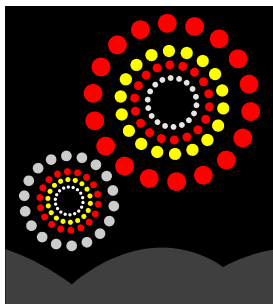
Email: t-shouhi@mail.pref.tokushima.lg.jp

ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/shohi/>

交流コーナー

くらしのサポーターのみなさんの質問や情報をお待ちしています。



くらしのコラム

想定内の安全～科学は万能ではない～

食品の安全・安心が言われるときに、必ずと言ってよいほど「科学的に」という枕詞が付く。農薬一つをとってみても150種類ほどもあるものすべてを調べられるはずはないのに、不思議である。

魔法のような試薬であれば別だが、一種類ごとに検査の試薬が異なれば、一検体ごとに150回の検査だ。生産段階や流通経路で混入が予想される物のみを検査するしか方法はあるまい。

安全が科学的に証明されたと言うことは、想定内の検査をして、危険物を含んでいないことの証でしかない。科学は歴史には学んでも、所詮「想定外」には打つ手はない。

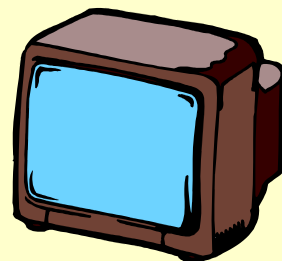
「安全と科学の名での嘘を言い」、私の嫌味川柳だ。

くらしのサポーター 三原茂雄

テレビは映ってますか？

7月24日（日）に今までのテレビ放送（アナログ放送）は終了し、地上デジタル放送（地デジ）に移行しました。

なお、現在映っていても、画面に「デジアナ」と表示されている場合は、2015年3月末までしか見られませんがそれまでに対応が必要となります。



注意！

地デジに関する詐欺にご注意ください

突然、テレビが映らなくなり困惑されている方もいるかもしれません。そうした場合に、地デジ対応やアンテナ交換を口実とした詐欺が発生するかもしれませんので、不要な工事や代金請求には注意しましょう。地デジ対応で国や県、テレビ局がお金を請求することはありません。このような請求を受けた場合はすぐに支払わず、消費者情報センターにご相談ください。

くらしのサポーター担当者より

今月の下旬に宮城県へ連絡員として派遣されました。

実際に被災地へ行くと、これまでテレビで見たもの以上に悲惨な状況を目のあたりにしました。テレビでは見たくないものはチャンネルを変えるなり電源を切ればよいですが、現地では匂いは何をしても鼻につきますし、ハエも払っても払っても寄ってきます。

徳島でも南海・東南海地震の発生が予測されています。地震を未然に防ぐことはできないので、事前に備えることで、被害を最小限にできたらと思います。

大谷